ボーリング柱状図

調　査　名　　広島県尾道庁舎耐震改修工事に伴う地質調査委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.3	調査位置	尾道市古浜町26-12			北　緯	34° 24’ 2.81″
発 注 機 関	広島県　土木建築局　営繕課			調査期間	平成28年7月16日～28年9月30日	東　経	133° 10’ 15.07″
調査業者名		主任技師		現　場 代理人		コ　ア 鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP +3.052m	角　度	180°上 90° 下 0° 0°	方　向	北 0° 90°東 180°南 270°西	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90° 1°	使用機種	試 錐 機	東邦地下工機　D1-C43	ハンマー落下用具	自動落下
総掘進長	20.00m								エンジン	ヤンマーNFD-13K	ポ ン プ	東邦地下工機　BG-3B

標尺 m	標高 m	層厚 m	深度 m	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位 m／測定月日	標準貫入試験 深度 m	10cm毎の打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 cm	N値	原位置試験 深度 m	試験名および結果	試料採取 深度 m	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
1	2.65	0.40	0.40		砂礫	橙褐		rc2	埋土。φ=2～5cmの角礫を含む。基質は粘土混じり砂からなる。	8/16 1.20	1.65	2	2	3	7	7.0							
2	1.30	1.35	1.75		礫質粘土	橙褐		rc2	埋土。φ=2～5cmの角礫を含む。少量の砂を混入する。貝殻片が認められる。		2.45	2	3	5	30/10	10.0			2.15 3P1-2 2.45	P	物理試験		8/12
3					砂	褐灰～明灰	rd2		淘汰土。中粒砂を主体とし、粗粒砂とφ=3cmの礫をわずかに含む。貝殻片が混入する。GL-3.15～3.50m、粗粒砂を多く含み、φ=8mmの細礫が認められる。貝殻片が混入する。	8/16 3.20	3.15	3	2	3	8	6.9			3.15 3P2-3 3.50	P	物理試験		
4	-0.95	2.25	4.00								3.50			15	35								
5	-1.95	1.00	5.00		砂礫	灰	rd3		淘汰土。中粒砂を主体とし、φ=3cmの礫を多く含む。少量のシルト、粘土を含む。φ=3cmのレンガ片とビニールテープが混入する。		4.15	6	4	3	13	13.0			4.15 3P3-4 4.45	P	物理試験		
6											4.45				30								
7	-4.95	3.00	8.00		砂混じりシルト	青灰～灰		rc1	砂を少量含むシルト。φ=0.2～0.5cmの細礫、貝殻片、木片、松かさが混入する。		5.15	1			1	1.0							
8											5.45	30			30								
9	-5.95	1.00	9.00		シルト混じり砂	灰～青灰	rd3		中粒砂を主体とし、少量のシルトを含む。φ=3cmの礫と貝殻片を混入する。		6.00	0	0	0	0	0.0							
10	-6.95	1.00	10.00		砂質粘土	灰～青灰		rc1	粘土を主体とし、中粒砂を含む。GL-9.00～9.15m、粘土。GL-9.15～9.45m、砂質粘土。		6.30				30								
11											7.15	1			1	0.9							
12	-8.95	2.00	12.00		シルト混じり砂	灰～青灰	rd3		細粒～粗粒砂からなり、シルトを含む。まれにφ=0.3mmの細礫が認められる。貝殻片を混入する。GL-11.00～11.45m、粗粒砂を主体とする。シルトが卓越する部分がある。		7.50	35			35								
13											8.15	5	4	5	14	14.0			8.15 3F1-8 8.45	P	物理試験		
14	-10.95	2.00	14.00		シルト質砂	灰～青灰	rd2		細粒～粗粒砂を主体とし、シルトを含む。貝殻片、木片を混入する。GL-12.00～12.45m、細粒～中粒砂を主体とする。GL-13.00～14.00m、中粒～粗粒砂を主体とする。		8.45				30								
15	-11.95	1.00	15.00		シルト混じり砂	灰	rd3		中粒～粗粒砂を主体とし、少量のシルトを含む。φ=0.5～1cmの礫と貝殻片を含む。		9.15	1			1	1.0							
16											9.45	30			30								
17	-14.00	2.05	17.05		シルト砂互層	灰～褐灰		rc3	層厚10cm程度の砂混じりシルトとシルト混じり砂～シルト質砂が互層する。GL-15.35～15.45m、有機物の多い細互層状のシルトである。GL-16.15～16.25m、有機物の多い灰褐色の粘土を挟む。		10.15	4	5	5	14	14.0			10.15 3F2-10 10.45	P	物理試験		
18	-14.30	0.30	17.35		シルト	青灰～褐灰		rc4	ほぼ均一なシルトである。		10.45				30								
	-14.60	0.30	17.65		火山灰	白灰	rd3		火山ガラス片が認められる。		11.15	4	4	3	11	11.0			11.15 3F3-11 11.45	P	物理試験		
19											11.45				30								
20	-15.95	1.35	19.00		シルト質砂	青灰	rd3		中粒～粗粒砂を主体とし、シルトを含む。φ=1cmの礫を混入する。		12.15	1	1		2	2.0							
21	-16.30	0.35	19.35		粘土	灰～黒灰		rc3	1～2mmの細互層状の粘土。木片を多く含む。シルト混じり砂の薄層を挟む。		12.45	15	15		30				12.35 3F4-12	P	物理試験		
	-16.95	0.65	20.00		シルト砂互層	青灰	rd3		層厚5～10cm程度で互層する。砂は細～粗粒砂からなる。		13.15	1	1	1	3	2.3			13.15 3F5-13 13.55	P	物理試験		
											13.55	15		15	40								
											14.15	5	7	7	19	19.0			14.15 3F6-14 14.45	P	物理試験		8/15
											14.45				30								
											15.15	2	3	4	9	9.0							
											15.45				30								
											16.15	6	6	9	21	21.0			15.35 3F7-16 16.45	P	物理試験		
											16.45				30								
											17.15	4	11	8	23	23.0							
											17.45				30								
											18.15	6	4	3	13	13.0			18.15 3F8-18 18.45	P	物理試験		
											18.45				30								
											19.15	2	4	7	13	13.0							
											19.45				30								
											20.15	5	4	4	13	13.0							8/16
											20.45				30								